

公共汚水ます設置工事における注意事項（汚水担当）

令和7年4月1日

（１）使用材料について

工事着手前までに管材、改良土、単粒碎石及び合材の材料承諾願を提出してください。（１回／年）

メールでの提出でも構いません。

（２）工事における注意事項

① 基礎工について

- ・管基礎材料は、改良土にて施工して下さい。

注意！！

下水では液状化現象防止のため、砂の使用を禁止しています。砂の使用が確認された場合はやり直しを指示します。なお、水道同時施工の場合は仕切り板等を使用して、お互いの管基礎が混同しないようにして下さい。

- ・管基礎は改良土にて、管下１０cm 管上１０cm で施工して下さい。
- ・公共汚水ますも取付管同様に改良土基礎を行い、しっかりと転圧して下さい。

② 止水性可とう支管について

支管については、止水性可とう支管を使用して下さい。

③ 仮舗装について

半田市内は歩道３cm、それ以外は５cm で仮舗装を施工して下さい。

④ 舗装厚について

施工箇所の舗装厚が不明な場合は、道路管理者（土木課）に確認して下さい。

⑤ 舗装の影響幅について

舗装の影響幅については、

市 道・・・１５cm

国・県道・・・３０cm で施工して下さい。

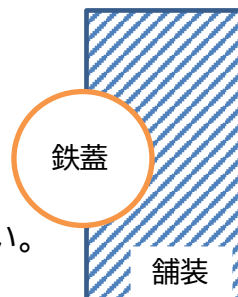
二次カッターで施工して下さい。

⑥ マンホール周囲の本舗装について

鉄蓋より２０cm未満の場合、鉄蓋の真ん中まで舗装して下さい。

⑦ 道路の規制方法について

安易に通行止めを選択するのではなく、まずは、片側交互通行・幅員減少で施



工可能かを考えて下さい。

交通規制を行うと近隣住民や通行車両へ多大な影響が発生しますので、交通誘導員を配置する等、その影響を少なくするように施工者側も努力をお願いします。歩行者通路を必ず確保して下さい。

特に通行止の場合は、事前予告や迂回案内板などで案内をして下さい。工事看板は工事区間の起終点でドライバー等の視認性を考慮し、歩行者の支障とならない位置に設置して下さい。

⑧ 工事写真について

工事写真は品質を確保して作業を行った証明となるものです。工事写真の不足や不明瞭な写真がないように注意して下さい。各工程・汚水ますの深さ・本管中心線より汚水ますまでの距離（道路部延長・宅内部延長）・舗装面積など出来形に関する項目については明確に写真撮影をして下さい。（上流マンホールからの距離については、黒板に表記し写真を撮る方法でも良いです。）

また、複数箇所の施工の場合、不可視部分（特に支管取付状況）は各々の状況が確認できるように撮影して下さい。

写真の順番にも注意をお願いします。

【着工前写真→完了写真→作業工程写真→出来形測定表確認写真】
という並びで写真帳の作成をして下さい。

また、工事名等の誤記についても目立ちますので、工事名等を確認して下さい。

⑨ 出来形測定表について

設計値より実測値が少なく、規格値より外れる場合は変更対象となります。そのような要因が確認された場合は速やかに汚水担当に協議して下さい。

また、汚水ます新設の深さについては、安易に浅くすることなく、建物の建替等により排水系統が変更された場合にも対応できる深さ（80 cm以上）として下さい。

出来形測定表の測定項目に舗装面積の欄を追記しました。出来形は現地でしっかり計測し、小数点第2位まで記入して下さい。

⑩ 土留工について

事故防止のため、掘削時には現場の状況により、必要な土留を施工して下さい。

⑪ 工期及び変更設計について

他業者との施工調整で工期が長期間必要な場合は、事前に調整のうえ汚水担当に相談して下さい。

また、工期変更、施工中の施工方法、使用部材の変更が必要となる場合には、速やかに污水担当に協議して下さい。

⑫ 工事場所の記載について

完了書類の中で、工事場所（住所）を記載する箇所がありますが、丁目地内ではなく全て番地まで記載して下さい。

⑬ 公共污水ますのコンクリート製から塩ビ製の変更について

事前調査時にコンクリート製であった場合は、既設取付管についても確認をお願いします。

既設取付管が塩ビ管でない場合、取付管の取替もお願いします。

⑭ 未使用となった既設公共污水ますについて

既設公共污水ますを使用しなくなった場合は、事前に相談して下さい。

⑮ 支管取付時の本管削孔した際の破片の処理について

本管削孔時の破片を確実に回収して下さい。

確実に回収したことを確認するため、回収したとがわかる写真を完了写真に添付して下さい。（削孔時の破片が本管内に残っており、それが原因で本管が詰まる事例が数件発生しています。）

⑯ 区画線について

区画線を施工する際は仮ラインテープではなく熔融式で施工し、施工写真を提出して下さい。

ただし、仮復旧から本復旧までの間は仮ラインテープで施工しても構いません。

⑰ 事前調査について

道路内の占用管の確認をお願いします。上水道管、雨水管、ガスパイプ、NTT等の埋設について、事前に調査をして下さい。

⑱ その他 注意事項

1. 公共污水ます及び取付管施工日、本舗装の施工日が決まり次第、污水担当まで連絡して下さい。
2. 工期内に完了が見込めない場合は、直ちに污水担当へ連絡して下さい
3. 直径 200mm の公共污水ます蓋と蓋セットについては、下水道課から支給します。